

“だれもがくらしやすいまちを考える”

立川市の委託事業で短編映画を作りました。

自分の気持ちを表現することが苦手だった車いすユーザーの若葉が、人と出会うことで自分もまわりも少し変わる立川発！のクスッと笑えるコメディ映画。楽しいなかにちょっと考えさせられたりもします。市内の素敵な場所も沢山出てきます。



講演会は、日本でユニバーサル・デザインを推進してきた川内美彦さんを講師に迎えます。パラリンピックで考えた共生社会、だれもが暮らしやすいまちを一緒に考えませんか。

日時	2021年11月25日(木曜日)
開場	女性総合センターアイム ホール
	開場 12時30分 開演 13時
13時	試写会「バリアフルライフ」(字幕あり)
13時35分	監督、キャスト舞台挨拶
14時	講演「ユニバーサル・デザインのまちづくり」
15時30分	終演

※ コロナウイルス感染症の感染防止のため、ホール入口で電話番号の記載、検温と体温の記載をさせていただきます(使用の決まりの為)。ご協力よろしくをお願いいたします。

【定員】 96名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

【申込〆切】 11月17日(水曜日)

【申込み先】 メール t.kurasiyasui2021@gmail.com 又は申し込みフォーム

電話 042-535-4751 FAX 042-540-1845

※ 参加者全員のお名前と電話番号をご記載、またはお伝えください。

※ 電話は留守電に入れて下さい。電話・FAXは折り返しのご連絡をいたしませんので、ご了承ください。



主催 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
共催 東京自立生活センター協議会
在宅障害者の保障を考える会

講演会講師 川内美彦氏 経歴紹介

アクセシビリティ研究所主宰。

(一社) 日本トイレ協会副会長。

東洋大学人間科学総合研究所客員研究員。

元東洋大学教授。一級建築士。博士(工学)。

1953年生まれ、広島県出身。

頸髄損傷により19歳から車いす使用。

1989～90年にアメリカで自立生活運動のリーダーたちやユニバーサル・デザインの提唱者であるロン・メイスと親交を結び、薫陶を受ける。

だれにも使いやすく、安全な建物やまちづくりにおけるアクセシビリティやユニバーサル・デザインについて提言多数。

また障害のある人の社会への関わりについて、「人権」や「尊厳」の視点で分析し、平等な社会参加を権利として確立していく活動を展開している。

2000年「ロン・メイス21世紀デザイン賞」受賞。

東京都福祉のまちづくり推進協議会専門部会委員

著書

『尊厳なきバリアフリー 「心・やさしさ・思いやり」に異議あり!』(2021/2)

『ユニバーサル・デザインの仕組みをつくる』学芸出版社(2007/8)

『ユニバーサル・デザインーバリアフリーへの問いかけ』学芸出版社(2001/4)

『バリア・フル・ニッポンー障害を持つアクセス専門家が見たまちづくり』現代書館
(1996/11) ほか多数。

